

2026年度 1年 国語科 年間指導計画

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

[第1学年] 目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにするようにする。
- (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2024年10月

指導時期	単元	教材名	配当 時数 ()内 は含ま れる領 域の 時数	教材目標	学習活動の流れ *は学習活動の留意点	学習指導要領と の対応		評価規準	小学校との関連 (小学校第5学年および 第6学年)	重点
						知識 及び 技能	思考 力、判 断力、 表現力 等			
4月	一	聞くとい うこと	1	● 言葉をと おして自分 と相手を理 解する。	1◎ 文章を 読んで、こ れからの中 学校生活で 伝えたいこ と、聞きた いことをま とめ、共有 、交流する。	(1)ウ	C(1)イ ◎ C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表 す語句の量を増し、話や文章の中で使 うことをとおして、語感を磨き語彙を 豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」 において、場面の展開や登場人物の相 互関係、心情の変化などについて、描 写をもとに捉えている。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 す ずんで文章を読んで理解したことに基 づいて自分の考えを確かなものに、学 習課題にそって考えたことを伝え合 おうとしている。	【知識・技能】 思考に 関わる語句の量を増 し、話や文章の中で使 うとともに、語句の構 成や変化について理解 し、語彙を豊かにする こと、また、語感や言 葉の使い方に対する感 覚を意識して、語や語 句を使うこと。(1)オ 【思考・判断・表現】 登場人物の相互関係や 心情などについて、描 写を基に捉えること。 C(1)イ	
		【話す 聞く】 お気に 入りの 一品を 紹介す る	話聞 2	● 伝えたい ことを明確 にして、お 気に入りの 一品を紹介 する。	(お気に入りの一品を決め、実物や写 真などを用意しておく。) 1◎ 一品の特徴や理由をメモし、メ モをもとに紹介文を書いた後、紹介 の練習を各自で行う。	(1)ア	A(1)ア ◎ A(2)ア	【知識・技能】 音声のはたらきや仕組 みについて、理解を深めている。(1)ア 【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・ 聞くこと」において、目的や場面に 応じて、日常生活の中からお気に入りの 一品について話題を決め、集めた材料	【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、 日常生活の中から話題 を決め、集めた材料を 分類したり関係づけた りして、伝え合う内容	

				2 第1時の練習を踏まえて思いを効果的に伝えるための工夫を考え、ペアやグループで紹介し合う。 *聞き手は話し手に1つ以上の質問をするように伝える。			を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理して伝える内容を検討し、学習課題にそって伝え合おうとしている。	を検討すること。A(1)ア		
	桜蝶	4	<ul style="list-style-type: none"> 行動や心情を表す言葉を文脈に注意して読む。 文学作品の構成や展開、人物の関係を描写から捉える。 	<p>1 「学びナビ」を読み、「視点」について理解する。『桜蝶』A・Bを読み感想を伝え合う。 *インターネット等を活用して作品と作者について理解を深める。</p> <p>2◎ 『桜蝶』A・Bを読み、「できごと」「場面や情景」を整理する。</p> <p>3◎ 『桜蝶』A・Bを読み、「登場人物の行動や心情」「その他の特徴」を整理する。</p> <p>4 『桜蝶』A・Bを読み、「視点」の違いによる印象の違いについて話し合う。 *異なる作品（例えば小学校教材『きつねの窓』）を用いて、「視点」を変えたりライトなどをしてもよい。</p>	(1)ウ	C(1)イ ◎ C(1)ウ C(2)イ	<p>【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写（特に二つの文章の描かれ方の違い）をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く二つの文章を読み比べながら、場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ</p>		
	文法の小窓1 言葉の単位 文法（解説）1 言葉の単位	2	<ul style="list-style-type: none"> 文章・段落・文・文節・単語という言葉の単位について理解する。 	<p>1◎ P30『文法の小窓1』を読み、内容を確認したあと、P278～280『言葉の単位』を読み、内容を整理する。</p> <p>2 前時の学習内容を確認したのち、P280「やってみよう」に取り組む。またP280「インターネットの文章」について理解する。</p>	(1)エ ◎		<p>【知識・技能】◎ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に言葉の単位について理解するとともに、見通しをもってその役割を考えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴についてりかひすること。(1)カ</p>		
5月	二	自分の脳を知っていますか	4	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠などの関係について理解する。 文章の中心的部分や付加的部分、事実と意見との関係を捉え、 	<p>1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、意見・感想を伝え合う。</p> <p>2 クッキーを使った二つの実験の説明によって、筆者が伝えようとする内容を捉える。</p> <p>3◎ 「脳の奇妙な癖」について、「おとり効果」の有効な点と問題点とを整理しながら、筆者の考えをまとめる。</p>	(2)ア	C(1)ア ◎ C(1)ウ C(2)ア	<p>【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに筆者の考えを捉え、要旨を把握している。C(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の要旨を把握し、学習課題に</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。C(1)ア</p>	

			要旨を把握する。	4 文章で繰り返し用いられている表現が読者に与える印象について話し合う。			そって筆者の考えをまとめようとしている。		
	【書く】資料をもとに紹介文を書く	書4	<ul style="list-style-type: none"> 指示する語句と接続する語句との役割について理解を深める。 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」を読み、内容を理解し、本やインターネットで情報収集をする。 ◎ 書きたい内容を短冊に書いて構成を考える。 * ペアやグループで構成について指摘し合う。 構成をもとに文章を書く。 段落の構成に注意して推敲する。 * 第2時同様にペアやグループで構成について指摘し合う。 書いたものを交流し、資料の読み取りや構成の工夫について確認し合う。 	(1)エ	B(1)イ ◎ B(2)イ	<p>【知識・技能】 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように複数の資料を比較するとともに、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。B(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで情報の整理の仕方について理解し、学習課題にそって共通点や相違点を根拠にしながらかえたことを書こうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴についてりかひすること。(1)カ</p> <p>【思考・判断・表現】 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。B(1)イ</p>	
	漢字の広場1 漢字の部首	1	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の部首についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> ◎ 「部首」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。 	(1)イ ◎		<p>【知識・技能】 ◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。(1)エ</p>	
6月	言葉の小窓1 日本語の音声 言葉(解説)1	2	<ul style="list-style-type: none"> 日本語の音の特徴を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> ◎ P50『言葉の小窓1』を読み、内容を確認したあと、P266～267『日本語の音声』を読み、内容を整理する。 前時の学習内容を確認したあと、P268「やってみよう」「考えてみよう」に取り組む。またP269「イントネーションと伝え方の工夫」について理解する。 	(1)ア ◎		<p>【知識・技能】 ◎ 音声のはたらきや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に音声のはたらきや仕組みを理解し、学習の見通しをもって日本語の音の特徴について理解を深めようとしている。</p>		

		日本語の音声								
		【話す聞く】構成を考えて話す	話聞3	<ul style="list-style-type: none"> ● 中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。 ● 相手の反応を見て、それに合った表現の仕方を工夫する。 	<p>1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。</p> <p>2 ◎ 伝えたい内容について、話す順番や表現の仕方などを検討する。</p> <p>3 グループでスピーチを行い、互いのスピーチについてよかった点や改善点を話し合い、よりよい話し方、聞き方について学び合う。</p> <p>* 聞き手の反応を見ながら話し方の工夫をする。また聞き手による評価も行えるとよい。</p>	(2)イ	A(1)イ ◎ A(1)ウ A(2)ア	<p>【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考へること。A(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ◎ 粘り強く相手の反応を踏まえながら表現を工夫するとともに、学習課題にそって伝えたいことを話そうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考へること。A(1)イ</p>	
	三	ベンチ	4 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。 	<p>1 本文を読み、「ベンチ」の表す状況を捉えて、自分なりの課題をもつ。</p> <p>2 「みちるべ」の説明にそって、情報の集め方を理解する。</p> <p>3・4 ◎ 本の帯やポップ、本に構造などについて理解を深める。効果的な表現を考えながら、作品の帯やポップを作成する。</p>	(3)オ ◎	C(1)イ ◎ C(1)ウ C(2)ウ B(1)ア B(2)ア	<p>【知識・技能】 ◎ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで読書が考えを広げること役立つことを理解し、学習の見通しをもって考えたことを提案しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づくこと。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア</p>	
7月		全ては編集されている／写真で「事実」を	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章や映像などに表されている情報と情報の関係を捉える。 ● 写真を見るとき 	<p>1 ◎ 『全ては編集されている』を読み、内容を理解する。『写真で「事実」を表現する』を読み、P69の課題に取り組む。</p> <p>2 前時の学習内容を確認したあと、P70・71の課題に取り組む。</p>	(2)ア ◎	C(1)ウ ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)ウ	<p>【知識・技能】 ◎ 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を</p>	

		表現する		を知り、写真の特徴を生かした多様な活用の仕方について考える。				【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 情報の扱い方についての理解を深め、目的に応じて適切に情報を読み取り、伝えたい情報を明確に表現しようとしている。	見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア
		漢字の広場2 画数と活字の字体	1	● 画数と活字の字体についての理解を深める。	1◎ 「画数と活字の字体」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。	(1)イ◎		【知識・技能】◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	【知識・技能】第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。(1)エ
		【書く】 材料を整理して案内文を書く	書5	● 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解し、それらを使う。 ● 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を集めて整理し、伝えたいことを明確にする。	1◎ 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。誰に何を案内するかを考え、必要な情報を集めて整理する。 2 案内文の構成を考える。 3 相手や目的を意識しながら案内文を書く。 4 推敲して清書する。 5 相手の立場になって案内文を読み合う。	(2)イ	B(1)ア◎ B(2)イ	【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで集めた情報を整理し、学習の見通しをもって案内文を書こうとしている。	【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア

9月	四	持続可能な未来を創るために一人の暮らし方を考える／「エシカル」に生きよう	3 (話聞 1書 1)	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する。 	<ol style="list-style-type: none"> SDGsの紹介、SDGsに関する資料を参考に、「最初の『問い』」を考える。 「『エシカル』に生きよう」を読み、「次の『問い』」について整理する。 ◎ 全体を再読し、「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書く。 	(2)ア (2)イ	A(1)ア ◎ A(1)オ A(2)イ B(1)ア ◎ B(1)ウ B(2)ア C(1)オ ◎ C(2)ア ウ	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。C(1)オ 【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く自分の考えを確かなものにするとともに、今までの学習を生かして本や資料をもとに考えを深めようとしている。	【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア 【知識・技能】情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ 【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ 【思考・判断・表現】目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討すること。A(1)ア 【思考・判断・表現】目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア
		森には魔法使いがいる	5 (書 1)	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠など情報と情報との関係について理解する。 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」を読み、内容を整理する。重要語句を抜き出し意味を確認する。 *インターネット等を活用して作品と筆者について理解を深める。 文章の論理の展開を捉える。 文章全体の構成を確認し、筆者がたどった問題解決の道筋を整理する。 ◎ 「森には魔法使いがいる」などの比喩表現を整理し、これらの表現 	(2)ア	C(1)ア C(1)エ ◎ C(1)オ C(2)ア B(1)オ B(2)ア	【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果（特に論理の構成）について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ 【思考・判断・表現】「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ	【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア 【思考・判断・表現】文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけること。B(1)カ

				を用いて説明する筆者の意図について考え文章にまとめる。 5 前時の文章を読み合い、感想を述べ合い、自分の考えを支える根拠をさらに明確にする。			【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の論理の展開について考え、学習課題にそって文章を読んで考えたことをまとめようとしている。	
	文法の小窓2 文の成分 文法(解説)2 文の成分	3	● 主語・述語・修飾語など、文の成分の役割について理解する。	1 P102『文法の小窓 2』を読み、内容を確認したあと、P281『文の成分』を読み、「やってみよう」に取り組む。 2・3◎ 前時の学習内容を確認したのち、P282～285を読み、「やってみよう」「考えてみよう」に取り組む。	内容の取扱い 2(1)ア (2年(1)オ◎)		【知識・技能】◎ 文の成分の順序や照応など文の構成について理解を深めている。2年(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで文の構成に興味・関心を抱き、文の成分の種類とはたらきを理解して、文の構成について理解を深めようとしている。	【知識・技能】 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。(1)カ
10月	【書く】 根拠を明確にして意見文を書く	書4	● 意見と根拠など、情報と情報との関係を理解する。 ● 根拠を明確にし、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。伝えたいテーマを決めて、資料を集める。 2◎ 四段落構成を基本として文章の構成を考え、根拠を明確にして文章を書く。 3 言葉の使い方や根拠の示し方に注意して推敲する。 4 書いた文章を友達どうして読み合い、根拠を確認し合う。	(2)ア	B(1)ウ◎ B(2)ア	【知識・技能】 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで根拠が明確な文章になるように工夫し、学習課題にそって自分の考えたことを書こうとしている。	【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)ウ
	広告の情報を考える	2 (書1)	● 広告を作る要素を整理し、広告を見る観点を知る。 ● 広告の特徴について理解し、広告を作る。	1 『広告の情報を考える』全体を読み、感想を伝え合う。P108の課題に取り組む。 2◎ 前時の学習内容を確認したあと、P109の課題に取り組む。	(2)イ◎	C(1)ウ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)イ	【知識・技能】◎ 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア	【知識・技能】 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ 【思考・判断・表現】 目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ 【思考・判断・表現】

								【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書くようとしている。	目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア
五	昔話と古典	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 古典にはさまざまな作品があることを知り、古典の仮名遣いにふれる。 	<p>1 ◎ 古典の仮名遣いに注意して川柳を読む。昔話を讀んだり聞いたりした経験を話し合い、古典の世界に興味・関心をもつ。</p> <p>* A I ドリルを活用して古典の仮名遣いへの理解を深める。</p>	(3)ア (3)イ ◎	C(1)イ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】◎ 古典には様々な種類の作品があることを知っている。(3)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 昔話に関する知識を手がかりに本文をすすんで読み、新しく知ったことについて話し合いの場で発言しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 古典について解説した文章を讀んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること(3)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ</p>	
	物語の始まり	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 仮名遣いに注意しながら音読し、古典に親しむ。 ● 登場人物の関係や心情に注意して、内容を理解する。 	<p>1 『竹取物語』について知っていることを発表したり、通読したり音読したりする。</p> <p>* インターネット等を活用して古典の世界への興味関心を高める。</p> <p>2 ◎ 『竹取物語』について調べ、絵本などの「かぐや姫」と『竹取物語』の異なる点を文章にまとめたり、話し合ったりして、そのおもしろさを考える。</p> <p>3 現代語とは違う意味で用いられている語や、現代語ではあまり用いられない語、現代語と同じ意味の語をあげ、古典の言葉と現代語のつながりについて考える。</p> <p>* A I ドリルを活用して古典の仮名遣いへの理解を確認する。</p>	(3)ア ◎	C(1)イ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】◎ 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に古典の世界に親しむとともに、学習の見通しをもって作品について考えたことを記録しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章などを音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ</p>	
	故事成語	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 漢文訓読の仕方を理解したり、音読したりして、漢文に慣れる。 	<p>1 ◎ 「矛盾」の盾と矛を売る人の話でつじつまの合わない点について考え、発表する。また、「助長」の意味を国語辞典と漢和辞典とでそれぞれ調べ、現在どのような意味で使われているか確認する。</p> <p>* インターネットを活用して古典の仮</p>	(3)ア ◎	C(1)イ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】◎ 音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相</p>	<p>【知識・技能】 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章などを音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(3)ア</p>	

			<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな故事成語について調べたり、発表したりして、由来や意味を理解する。 	<p>名遣いへの理解を深めるとともに、中国の古典への興味関心を高める。</p> <p>2 「矛盾」と「助長」の書き下し文をノートに書き写したり音読したりして漢文訓読のきまりを理解する。また、漢文の読み方をもとに、いろいろな二字熟語や四字熟語の意味を説明する。</p> <p>3 いろいろな故事成語の意味や由来を調べ、それを使った短い文を書き、発表する。</p>			<p>互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで音読に必要な訓読の仕方を知り、学習の見通しをもって文章を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>【思考・判断・表現】 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ</p>
1 1 月	蜘蛛の糸	2	<ul style="list-style-type: none"> ● わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<p>1 作品を読み、物語のあらすじを捉え、感想を伝え合う。</p> <p>2◎ 作品解説、作者についての文章を読み、近代の小説や作家について理解する。</p> <p>インターネット等を活用して、芥川龍之介に限らず日本近代文学への関心を高める。</p>	(3)オ ◎	C(1)イ ◎ C(1)エ C(2)ウ	<p>【知識・技能】◎ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで読書が考えを広げることに関与することを理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ</p>
六	河童と蛙	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 比喩や反復などの表現の技法を理解する。 ● 詩の構成や展開、表現の効果について考える。 	<p>1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。詩を読み感じたことを発表し合う。</p> <p>2◎ オノマトペの効果について理解し、詩の登場人物の役割を捉え、作品の世界を生かすように朗読する。</p>	(1)オ	C(1)エ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで表現の技法を理解するとともに、詩を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 比喩や反復などの表現の工夫に気づくこと。(1)ウ</p>
	オツベルと象	6	<ul style="list-style-type: none"> ● 語句の意味や擬声語・擬態語に注意し、その工夫や効果を理解する。 ● 場面と場面、場面と描写などを 	<p>1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、語り手や登場人物の関係を整理する。</p> <p>* 「まなびリンク」を活用して難解語への理解を深める。</p> <p>2 全文を音読し、擬声語・擬態語の使い方の特徴とその効果を考える。</p> <p>3 「オツベル」と「白象」はどのような人物として描かれているか、会</p>	(1)ウ	C(1)ウ ◎ C(1)エ C(2)イ	<p>【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深めることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して、内容を解釈している。C(1)ウ</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感</p>

			結びつけて内容を解釈する。	話部分に着目しながらまとめる。 4◎ 「第一日曜」「第二日曜」のできごとと、「第五日曜」のできごとから、共通点と相違点を比べる。 5 「ああ、ありがとう。ほんとに僕は助かったよ。」(P168)と、白象が「寂しく笑って」言った理由について発表し合い、文章にまとめる。 6 「第一日曜」「第二日曜」と「第五日曜」では、牛飼いの語り方が変化していることを踏まえ、牛飼いがどのような気持ちでこの物語を語ったのかを考える。			【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く表現の効果について根拠を明確にして考えるとともに、作品を読んで考えたことを伝え合おうとしている。	覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ 【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ
	【書く】 随筆を書く	書3	● 身近に起きたことや経験したことをまとめて、叙述の仕方を考える。	1 身近に起こったこと、経験したことなどを思い浮かべ、そこから新しく発見したことやそのことの意味を考えたこと、随筆に書く内容を定める。 2 読み手をひきつけるような文章の展開を考える。P171を読み、随筆にふさわしい表現があることを理解したうえで、最も適切な言い回しを意識しながら随筆を書く。 3◎ 季語辞典、類語辞典などを用いて、よりふさわしい言い回しがないかを考えながら推敲し、書いた随筆を友達どうしで読み合い、工夫した言い回しを確認し合う。	(1)ウ	B(1)エ ◎ B(2)ウ	【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ 【思考・判断・表現】 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。B(1)オ
1 2 月	言葉の小窓2 日本語の文字 言葉(解説)2 日本語の文字	1	● 日本語を書き表す文字の特徴を理解する。	1◎ P172『言葉の小窓 2』を読み、内容を確認したあと、P270～273『日本語の文字』を読み、内容を整理する。	内容の取扱い 2(1) ア (小5・6) 3(ウ) (1)イ ◎		【知識・技能】 ◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書くとともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	【知識・技能】 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。(1)エ

七	子どもの権利	4 (話)	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門的な事柄などを表す語句の意味をおさえ、文章内容を捉える。 ● 反論を用いた文章の構成や展開に着目して、筆者の主張を読む。 	<p>1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、意見・感想を伝え合う。 *インターネット等を活用して「子どもの権利条約」についての理解を深める。</p> <p>2 「子どもの権利条約」の内容と本文を照らし合わせ、世界における考え方の変化についてまとめる。</p> <p>3◎ 文章中の「反論」の部分をおさえながら、文章の構成を確認して論理を捉え、筆者の説明や主張を整理する。</p> <p>4 筆者の主張を踏まえ、子どもの権利について考えたことを話し合う。</p>	(1)ウ	<p>C(1)エ ◎ C(1)オ C(2)ア</p> <p>A(1)イ A(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 事象や行為を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。A(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自分の考えを確かなものにするるとともに、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。</p>
	【話す聞く】 調べた内容を聞く	話聞 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 得た情報を整理し、相手が伝える内容を予想しながら聞く。 ● 相手の話と自分の考えとを比較しながら聞き、その共通点と相違点を踏まえて考えをまとめる。 	<p>1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。話すテーマについて本やインターネットを用いて調べる。 *いくつかのテーマを設定して、生徒に選ばせてもよい。</p> <p>2 調べた内容をもとに、スピーチの内容・構成を検討する。</p> <p>3◎ スピーチを行う。 *自分のスピーチとの共通点と相違点をメモしながら相手のスピーチを聞く。</p>	(2)イ	<p>A(1)エ ◎ A(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。A(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に共通点や相違点を踏まえて考えをまとめ、学習の見通しをもって報告を聞いて質問しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係のあわら仕方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。A(1)エ</p>
	漢字の広場3 漢字の音と訓	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 漢字の音と訓についての理解を深める。 	<p>1◎ 「漢字の音と訓」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。</p>	(1)イ ◎		<p>【知識・技能】◎ 学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されているうちの漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に漢字を読み、または漢字を書く</p>	<p>知識・技能】 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文</p>

								ともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。(1)エ	
1 月	八	言葉がつなぐ世界遺産／地域から世界へ—ものづくりで未来を変える—	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 事実と意見など、情報と情報との関係について理解する。 ● 事実と意見の関係などについて注意して読み、筆者の考えを捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。問いに着目しながら本文を通読し、意見・感想を伝え合う。 2 「修復記録の蓄積」と「世代を超えた技術の伝承」に対して、「言葉」の使われ方、果たす役割についてまとめる。 3 論理の展開を捉え、筆者の説明や主張を整理し、題名にこめられた筆者の考えについてまとめる。 4 ◎ 文章をもとに、「日本の文化に対する世界からの評価」「伝統的な技術の継承や発展」について考えたことを話し合う。 <p>* 『地域から世界へ』の文章も参考にしながら日本の伝統文化について考えるように促す。</p>	(2)ア	C(1)ア C(1)オ ◎ C(2)ア	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。C(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く理解したことに基づいて考えを確かなものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p>	
		【書く】 報告文を整える	書3	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続する語句の役割を理解し、使う。 ● 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。伝えたいテーマを決めて、テーマに関するデータを集める。 2 集めた調査結果を読み取り、書く順序を考え、図表から読み取れることなどを中心に報告文を書く。 3 ◎ 推敲して完成させる。完成した報告文を友達どうしで読み合う。 	(1)オ	B(1)エ ◎ B(2)ア	<p>【知識・技能】 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に読み手の立場に立って叙述の仕方などを確かめるとともに、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。</p>	<p>【知識・技能】比喩や反復などの表現の工夫に気づくこと。(1)ク</p> <p>【思考・判断・表現】文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。B(1)オ</p>	
2 月		文法の小窓3 単語のいろいろ	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 自立語と付属語、活用の有無などの、分類の基準について 	<ol style="list-style-type: none"> 1 P228『文法の小窓 3』を読み、内容を確認したあと、P286『単語のいろいろ』の「自立語と付属語」を読み、「考えてみよう」に取り組む。 2 ◎ P287・288「活用のある単語と活用のない単語」「活用のある自立 	(1)エ ◎		<p>【知識・技能】◎ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】すすんで単語の類別について理解を深め、</p>	<p>【知識・技能】文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種</p>	

		文法(解説)3 単語のいろいろ		て理解する。	語」を読み、「考えてみよう」に取り組む。 3 P289「活用のある付属語」を読み、内容を理解する。「品詞分類表」によって品詞の全体を把握する。			今までの学習を生かして言葉を分けて考えることの大切さを理解しようとしている。	類とその特徴について理解すること。(1)カ	
		【話す聞く】 発言を結びつけて話し合う	話聞 3	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う目的や、どのような順序で話し合うかを確認する。 互いの意見を結びつけて整理しながら話し合い、自分の感想や考えをまとめる。 	<p>1 「学びナビ」と本文を読み、内容を理解する。話すテーマについて自分の考えの中心や根拠となる事例を調べる。</p> <p>2 ◎ 話し合いの進め方について検討する。</p> <p>* グループで話し合いの内容や進め方を考える。教科書の例を参考にする。</p> <p>3 グループで話し合いを行い、グループで相互評価を行う。</p>	(2)ア	A(1)オ ◎ A(2)イ	<p>【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。A(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】すすんで互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってそれぞれの立場から考えを伝えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】互いの立場や意図を明確にしながらい計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。A(1)オ</p>	
		漫画で「物語」を表現する	2	<ul style="list-style-type: none"> 漫画を形づくる要素を整理し、表現の特徴について理解する。 漫画の中の絵と言葉との関係を捉え、読み手に対する効果を考える。 	<p>1 『漫画で「物語」を表現する』全体を読み、感想を伝え合う。P234の課題に取り組む。</p> <p>* 「まなびリンク」を活用して取り組む。</p> <p>2 ◎ 前時の学習内容を確認したのち、P235の課題に取り組む。</p>	(2)イ	C(1)ウ ◎ C(2)ウ	<p>【知識・技能】比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈している。C(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって伝えるべきことを整理して書こうとしている。</p>	<p>【知識・技能】情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係のあわら仕方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	
		漢字の広場4 熟語の構成	1	<ul style="list-style-type: none"> 熟語の構成の基本的な型を知る。 	1 ◎ 「熟語の構成」について理解する。「練習」によって理解の確認を行う。	(1)イ (1)ウ ◎		<p>【知識・技能】◎ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して語や文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に漢字を読み、または漢字を書く</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感</p>	

								ともに、今までの学習を生かして文や文章の中で使おうとしている。	覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ
3月	九	四季の詩	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 比喻や反復などの表現の技法を理解して使う。 ● 表現の効果について、根拠を明確にして考える。 	<p>1◎ それぞれの詩のイメージを想像し、どのようなことが想像されているか話し合う。それぞれの詩の表現技法や工夫を理解する。</p> <p>2 四つの詩から一つ選び、自分なりの考えをまとめて伝え合う。</p>	(1)オ	C(1)エ ◎ C(2)イ B(1)エ B(2)ウ	<p>【知識・技能】 比喻、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。C(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。B(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで描写をもとに捉えるとともに、今までの学習を生かして詩を創作しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 比喻や反復などの表現の工夫に気づくこと。(1)ク</p> <p>【思考・判断・表現】 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。B(1)オ</p>
		少年の日の思い出	6	<ul style="list-style-type: none"> ● 行動や心情を表す言葉や語句の文脈上の意味に注意して読み、語彙を豊かにする。 ● 語り手に着目して作品を読み、交流を通して自分の考えを確かなものにする 	<p>1 「学びナビ」を読み、内容を整理する。本文を通読し、作品の構成を理解する。</p> <p>2 現在の「私」と「客」の場面の「客」の心情を理解する。</p> <p>3 「僕」と「エーミール」のチョウに対する考え方の違いを捉え、「エーミール」に対する心情の変化をノートにまとめる。</p> <p>4 「僕」と「エーミール」はお互いのことをどう思っているかを捉え、盗みを犯した理由を考える。</p> <p>5◎ 「僕」がチョウをこなごなにした理由を話し合う。</p> <p>6 「視点」を変えた語り直しについて話し合い、作品の言葉と表現に着目し、言葉や表現の、場面や心情との結びつきについて理解する。</p> <p>*「まなびリンク」を活用しながら、作品の言葉や表現を確認する。</p>	(1)ウ	C(1)イ C(1)オ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 事象や行為、心情を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。C(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く登場人物の心情の変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p>
		言葉の小窓3 方言と共通語	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 方言と共通語の特徴について知る。 	<p>1◎ P263『言葉の小窓 3』を読み、内容を確認したあと、P274～277『方言と共通語』を読み、内容を整理する。「考えてみよう」に取り組む。</p>	(3)ウ ◎		<p>【知識・技能】 ◎ 共通語と方言の果たす役割について理解している。(3)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで共通語と方言について調べ、学習の見通しをもって共通語と方言の果た</p>	<p>【知識・技能】 語句の由来などに関心を持つとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに</p>

		言葉 (解説) 3 方言と 共通語						す役割について理解しようとしてい る。	気づき、共通語と方言 との違いを理解するこ と。また、仮名および 漢字の由来、特質など について理解するこ と。	
--	--	----------------------------	--	--	--	--	--	------------------------	---	--

総時数 108 時間（うち、話すこと・聞くこと 13 時間、書くこと 26 時間）

各単元の最後に「単元テスト」を 1 時間もうける。

年 3 回学力テストの時間を設ける。

計 $108 + 9 + 3 = 130$ 20 時間を書写の時間とする。

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

〔第2学年〕目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2024年10月

指導時期	単元	教材名	配当 時数 ()内 は含ま れる領 域の 時数	教材目標	学習活動の流れ *は学習活動の留意点	学習指導要領と の対応		評価規準(例)	小学校との関連 (小学校第5学年および 第6学年)	重点
						知識 及び 技能	思考 力、判 断力、 表現力 等			
4月	一	虹の足	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 情景を表す比喩や象徴、言葉などに注意して読む。 ● 目の前に見えた「虹の足」から、隠れたその意味について考える。 	1◎ 「学びナビ」を読み、「比喩・象徴」について理解する。「虹の足」などの比喩的な表現が表しているものを考えながら、感想を交流することをとおしてこの詩にこめられた作者の感動を読み取る。	(1)エ	C(1)イ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで登場人物の言動の意味を考え、今までの学習を生かして考えたことをノートにまとめようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること、また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	

	【話す聞く】 いろいろな立場や考えを踏まえる	話聞 1	<ul style="list-style-type: none"> 異なる立場や考えを取り上げて、ニュースやできごとの紹介をする。 	<p>1◎ グループで、ニュースから話題を取り上げ、対話をする。複数の媒体などから調べ、さまざまな立場や考えがあることを押さえながら話し合う。</p> <p>*多様な媒体の中から、適切な情報を取り上げるよう気をつける。</p>	(1)ア	A(1)ア ◎ A(1)イ A(2)ア	<p>【知識・技能】言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に集めた材料を整理し、学習の見通しをもって話し合おうとしている。</p>	【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容を検討すること。A(1)ア	
	タオル	4	<ul style="list-style-type: none"> 文学的な表現を通じて語感を磨き、語彙を豊かにする。 登場人物の設定の仕方や人物どうしの関係を捉える。 	<p>1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「象徴」について理解する。全文を通して読み、登場人物やあらすじについて確認する。初発の感想を書き、読みの課題を整理する。</p> <p>2◎ 場面（前半部と後半部）ごとの「少年」の心情の変化と、変化の理由を考える。</p> <p>3◎ 「涙」に着目して、少年の心情の変化を捉える。</p> <p>4 「タオル」が果たした役割について考えをもつ。語り方の特徴とその効果について考え、感想をまとめる。</p>	(1)エ	C(1)ア ◎ C(1)イ C(2)イ	<p>【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。</p>	【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ <p>【思考・判断・表現】登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。C(1)イ</p>	
5月	文法の小窓1 活用のない自立語 文法（解説）1 活用のない自立語	2	<ul style="list-style-type: none"> 活用のない自立語のはたらきを理解する。 	<p>1◎ P38『文法の小窓1』を読む。名詞、連体詞、副詞の種類と用法について理解を深める。</p> <p>2◎ 接続詞、感動詞の種類や用法について理解を深める。</p> <p>*『文法の小窓1』に戻り、しりとりで使える言葉のきまりを話し合いながら作る。</p>	(1)オ ◎		<p>【知識・技能】◎ 単語の活用について理解を深めている。(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に活用のない自立語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>	【知識・技能】文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴についてりかひすること。(1)カ	

		【書く】 新聞の投書を書く	書5	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな情報の集め方を理解し、活用する。 社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「材料を収集する」ことについて理解する。新聞の投書を書くための活動の流れを確認し、投書のテーマを決める。 2 ◎ P39 下段の図を参考にして、社会生活に向けた課題を設定し、多様な方法で材料を集め、伝えたいことを明確にするために集めた材料を整理する。 3 集めた材料から自分の意見に合ったものを用いて投書を書く。 4 自分の意見を振り返り、表現や構成に注意して、推敲する。 5 書いた文章を友達と読み合い、意見を交換する。 	(2)イ	B(1)ア ◎ B(2)ア	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア</p>
		漢字の 広場1 まちがえやすい漢字	1	<ul style="list-style-type: none"> 似た形やまちがえやすい漢字について理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ◎ 似た形やまちがえやすい漢字についての理解を深め、正しい字形で漢字を書く。 	(1)ウ ◎		<p>【知識・技能】 ◎ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。(1)エ</p>
6月	二	日本の 花火の 楽しみ	3	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「読み比べ」について理解する。全文を通読し、キーワードを書き抜く。文章全体の問いと答えを探し出し、筆者の主張を捉える。 2 ◎ 理想の花火を目ざし「花火玉の構造」「理想の開き方・消え方」について、それぞれ職人が施している工夫をまとめ、筆者の論理の展開、表現や説明の仕方の工夫・意図を考える。 3 筆者の考える日本の花火について、自分の意見をまとめて発表する。 <p>*私たちの社会や日常生活の中で思い起こされる「日本の○○の魅力」について、文章にまとめる。</p>	(2)ア	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ ◎ C(2)ア	<p>【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p>

水の山富士山	4	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 主張と例示の関係性を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。 	<ol style="list-style-type: none"> 目標を確認して「学びナビ」を読み、「読み比べ」について理解する。全文を通して読んでキーワードを書き抜く。富士山に降った水の流れを整理する。 二つの問いと答えを、図を活用しながら理解する。 文章の構成を捉え、筆者が「水の山富士山」という題名をつけたことに対して自分の考えを書く。 ◎ 『日本の花火の楽しみ』と比較し、構成や説明の仕方の違いについて自分の考えをもつ。 	(2)ア	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ ◎ C(2)ア	<p>【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。C(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く必要な情報に注目し、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書くようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p>
【話す聞く】 課題を設定して伝える	話聞3	<ul style="list-style-type: none"> 情報の関係を踏まえ、根拠の適切さや論の展開に注意して話を構成する。 資料や機器などを用いて自分の考えをわかりやすく伝える。 	<ol style="list-style-type: none"> 目標を確認して「学びナビ」を読み、「多面的に捉える」ことについて理解する。話題と提案内容を決め、意見と根拠を分けながら原稿メモを作成する。 ◎ 根拠の適切さや論理の展開などに注意して自分の立場や考えが明確になるように文章構成を決め、スピーチ原稿を作成する。 互いの発表を聞き、構成や意見と根拠の的確さを確認し合う。 	(2)ア	A(1)イ ◎ A(1)ウ A(2)ア	<p>【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって考えを述べようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。A(1)イ</p>
言葉の小窓1 敬語 言葉(解説)1 敬語	1	<ul style="list-style-type: none"> 敬語のはたらきや特徴について知る。 	<ol style="list-style-type: none"> ◎ P66『言葉の小窓1』を読み、敬語のはたらきと用法について理解しつつ、日常生活で敬語を使う場面を思い起こしながら、グループ内で確認する。 	(1)ア (1)カ ◎		<p>【知識・技能】◎ 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く敬語のはたらきや特徴について理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>	
【書く】 手紙・メールを整える	書5	<ul style="list-style-type: none"> 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使う。 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。 	<ol style="list-style-type: none"> 目標を確認して手紙の用件を決め、形式など手紙を書く活動の流れを確認する。 手紙の形式を参考に構成を考える。 手紙の形式を踏まえて、下書きをする。 ◎ 読み手の立場に立って表現の効果などを確かめながら下書きを推敲する。 下書きを友達と読み合い、指摘し合ったあとで清書する。封筒、はがきの書き方、電子メールの書き方を知る。 	(1)カ	B(1)エ ◎ B(2)イ	<p>【知識・技能】 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を書いている。B(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に敬語のはたらきについて理解し、学習の見通しをもって用途に合わせた文書を書くようとしている。</p>	<p>【思考・判断・表現】 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。B(1)オ</p>

7月	三	夢を跳ぶ	3 (書 2)	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の課題に応じて資料を探し、さまざまな情報の中から適切なものを選び、自分の考えをまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ◎ 目標を確認して全文を通して読み、筆者の主張と例示との関係を整理しながら捉える。感想、関心をもったこと、調べてみたいことを箇条書きで書き出す。 2 前時に箇条書きで書き出した、感想、関心をもったこと、調べてみたいことを、グループで発表し、意見を交流する。そのうえで、自分の調べたいことを一つに絞る。「みちしるべ」を読み、自分の考えをまとめるための方法と手順を確認する。 3 「みちしるべ」を参考に、さまざまな方法で集めた資料や情報を整理して、自分の考えをレポートにまとめる。 	(3)エ ◎	C(1)ア ◎ C(1)イ C(2)ウ B(1)ア B(2)ア	<p>【知識・技能】◎ 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで必要な情報に注目し、学習の見通しをもって考えたことをレポートにまとめようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア</p>
		言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉 言葉 (解 説)2 話し言葉と書き言葉	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 話し言葉と書き言葉の、それぞれの特徴を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ◎ P82『言葉の小窓2』を読み課題意識をもつ。「話し言葉と書き言葉」(P281～P283)を読み、話し言葉と書き言葉の違いを考える。 	(1)ア (1)イ ◎		<p>【知識・技能】◎ 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く話し言葉や書き言葉の特徴について理解し、学習課題にそって話や文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】◎ 話し言葉と書き言葉の違いに気づくこと。(1)イ</p>
		【話す聞く】 相違点を明確にして聞く	話聞 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の表し方を捉え、論理の展開に注意しながら聞く。 ● 話し手と自分の考えを比較しながら自分の考えをもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 ◎ 目標を確認して「学びナビ」を読み、「相違点を明確にする」ことについて理解する。身近な課題についてグループで意見を出し合い、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめる。 2 問題解決に向けて情報を集めて自分の考えを整理する。 3 図やグラフを用いて発表し合い、発表の仕方について振り返りを行う。 	(2)イ	A(1)エ ◎ A(2)ア	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。A(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考</p>

									えをまとめること。 A(1)エ
		SNSから自由になるために／脚本で動きを説明する	2 (書 1)	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな種類の文章を構成する情報を整理し、それぞれの特徴を理解する。 文章の目的の違いを理解し、SNSの効果を考えたり、小説を脚本に書きかえたりする。 	<p>1◎ 目標を確認して『SNSから自由になるために』を読み、SNSの性質を知り筆者の主張を捉えインターネットでの表現のあり方について考える。</p> <p>2 小説と脚本の違いを知り、任意の小説の一節を脚本に書きかえる。</p>	(1)ア (2)イ	C(1)イ ◎ C(2)ウ B(1)ア B(2)ウ	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。B(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章を比較するなどし、学習の見通しをもって脚本を創作しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア</p>
		漢字の広場2 漢字の成り立ち	1	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の成り立ちについての理解を深める。 	<p>1◎ 漢字の六種類の成り立ちを理解し、身のまわりの漢字を分類する。</p>	(1)ウ ◎		<p>【知識・技能】 ◎ 第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち本教材で示された漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。(1)エ</p>
9月	四	持続可能な未来を創るために—不平等の	3 (話聞 1 書 1)	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の実現に向けて課題を共有し、行動する。 	<p>1 目標を確認して、P96～98を読み、「始めの『問い』」を考える。</p> <p>2 P99～101を読み、「次の『問い』」について話し合う。</p> <p>3◎ P102～105「『ここにいる』を言う意味」「一〇〇年後のみなさんへ」を読</p>	(2)ア (2)イ	A(1)イ ◎ A(2)イ B(1)ウ ◎	<p>【知識・技能】 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について、理解すること。(2)ア</p> <p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕</p>

		ない社会を考える／「ここにいる」を言う意味		み、「最後の『問い』」について話し合い、自分なりの考えを書く。		B(2)ア C(1)エ C(1)オ ◎ C(2)ア C(2)ウ	【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。A(1)イ 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって議論しようとしている。	方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ 【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ 【思考・判断・表現】文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。C(1)カ 【思考・判断・表現】目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)ウ	
紙の建築	5	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体と抽象などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ● 事例の役割や効果を確かめ、得られた情報を整理しながら読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「事例と論の展開」について理解する。本文のあらましを捉える。 2 本文を読んで「学びナビ」のキーワードを抜き出し、文章全体の構成を理解する。 3◎ 本文における事例の役割や効果を確かめながら事例と主張を関連づけ、筆者の行動とそれを支える信念を捉える。 4 筆者の考えを踏まえながら、社会の中で働くことについて自分の考えを文章にまとめる。 5 文章にまとめたものをもとに社会の中で働くことについて話し合い、広い視野をもったり自分の考えを深めたりする。 	(2)ア	C(1)ア C(1)イ ◎ C(1)オ C(2)ア	【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって説明しようとしている。	【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア 【思考・判断・表現】目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ		
【書く】構成を明確にして説	書4	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報どうしの関係についてさまざまな表し方を理解 	<ol style="list-style-type: none"> 1 目標を確認して学びナビを読み、「構成を明確にすること」について理解し、多様な考え方があ問題について題材を決める。 	(2)イ	B(1)イ ◎ B(2)ア	【知識・技能】情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、伝えたいことがわかり	【知識・技能】情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し		

		明文を書く		し、活用する。 ● 段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する。	2◎ 意見と根拠を適切に示し、推論の道筋が伝わりやすい構成を考える。 3 根拠の適切さを考えて具体例を示し、自分の考えが伝わる文章にする。 4 読み手からの助言を踏まえ、自分の文章を振り返る。			やすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。B(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって、意見を述べる文章を書こうとしている。	方を理解し使うこと。 (2)イ 【思考・判断・表現】筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。B(1)イ	
		文法の小窓2 活用のある自立語 文法(解説)2 活用のある自立語	2	● 用言の活用と種類・用法を理解する。	1◎ P120『文法の小窓2』を読み、活用のある自立語について理解を深める。 P294の解説を参考に、動詞の種類や役割について理解を深める。 2 P299の解説を参考に、形容詞や形容動詞の活用や役割について理解を深める。	(1)オ◎		【知識・技能】◎ 単語の活用について理解を深めている。(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く自立語の活用について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。	【知識・技能】文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。(1)カ	
10月	五	敦盛の最期	3	● 歴史的仮名遣いに注意し、文章の特徴を生かして朗読し、物語に親しむ。 ● 登場人物の言動や心情について話し合い、作品の理解を深める。	1 目標を確認し『平家物語』冒頭を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『平家物語』の中心思想を理解する。 2 『敦盛の最期』を歴史的仮名遣いに注意して音読し、登場人物を確認してせりふの主語を確定する。 3◎ 記述を根拠にして登場人物の心情を読み取ったあと、一人で、あるいは役割を決めて朗読し、作品世界を味わう。	(3)ア◎ (3)イ	C(1)ア◎ C(2)イ	【知識・技能】◎ 歴史的仮名遣いに注意して、作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。C(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く歴史的仮名遣いに注意して音読し、これまでの学習を踏まえ、作品の特徴を生かして朗読している。	【知識・技能】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(3)ア 【思考・判断・表現】事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。C(1)ア	
		随筆の味わい	3	● 歴史的仮名遣いに注意して、言葉の意味を正確に読み、作者の思いを想像する。 ● 作者のものの見方や考え方に対して、自分の考えをもつ。	1 目標を確認し歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、どのような季節感や人間観が述べられているか課題をもつ。 2◎ 『枕草子』を読んで季節の情景を捉え、感想を交流する。 3◎ 『徒然草』を読んで筆者の人間観を捉え、それに対する自分の考えを文章にまとめる。	(3)イ◎	C(1)イ◎ C(1)オ C(2)イ	【知識・技能】◎ 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことをとおして、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み理解したことや考えたことを説明しようとしている。	【知識・技能】古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知ること。(3)イ 【思考・判断・表現】目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め	

								方について考えたりすること。C(1)ウ	
	二千五百年からのメッセージ	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 音読をとおして漢文の表現に慣れる。 ● 『論語』を読んで、孔子の考えを捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 目標を確認し書き下し文を音読したり暗唱の練習をしたり、また、現代語訳を確認したりすることで、各章句の意味を捉える。 2 教科書の章句の中から一つ選び、そのよさについてワークシートに記入したうえで、話し合う。 3◎好きな孔子の言葉を他にも探して、『論語』の言葉で心に響いた表現や内容についての自分の考えを文章にまとめ、紹介し合う。 	(3)ア◎	C(1)ア C(1)オ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】◎ 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、古典の文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く現代語訳や語注などを手がかりに作品を読み、学習課題にそって解釈したことを表現しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。C(1)カ</p>	
	坊っちゃん	1	<ul style="list-style-type: none"> ● わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<ol style="list-style-type: none"> 1◎ 目標を確認して『坊ちゃん』を「作品解説」にある「自分語り」の観点から読み、作品の特色について意見を交流する。 	(3)エ◎	C(1)ア C(1)イ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】すすんで内容を解釈し、複数の情報を整理しながら考えたことを提案しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	
六	短歌の味わい	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 情景や心情を表す言葉に注意して読む。 ● 作品に描かれた固有の情景や心情のもつ意味を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1◎ 目標を確認して、「短歌の味わい」を読み、「短歌十首」の中から印象に残った短歌を選ぶ。 *選んだ短歌がなぜ印象に残ったのか、話し合う。 2 コラム「少しでも変えてみる」(P172・173)を読み、描かれている情景や言動の意味を考え、作品の内容理解に大きな違いが生まれることを理解する。表現の違いによって描かれる世界に大きな違いが生まれることを理解する。 	(1)エ	C(1)ア C(1)イ◎ C(2)イ B(1)ウ B(2)ウ	<p>【知識・技能】抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p>	

				*コラムの内容を踏まえて、短歌を創作する。			えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで内容を味わい、今までの学習を生かして短歌を創作しようとしている。	【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)ウ	
11月	夏の葬列	6	<ul style="list-style-type: none"> ● 人物の心情や場面に応じた言葉の使われ方を理解する。 ● 時間の順序に留意し、人物の心情の変化や言動の意味を考え、作品を解釈する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 目標を確認して、「学びナビ」を読み、「時間と構成」について理解する。全文を通して読み、語句を調べながら、あらすじを把握する。 2 物語の展開を捉え、感想の交流をとおして読みの課題を設定する。 3 人物の心情の変化を捉え、それについて感想を交流する。 4◎ 主人公の人称の使い分けを比較し、その効果について話し合う。 5 結末部分について考えを深め、話し合いをする。 6 物語の展開や表現の工夫がどのような効果をもたらしているか考える。 	(1)エ	C(1)イ ◎ C(1)エ C(2)イ	<p>【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時間の流れや場面の展開などの構造を捉え、学習課題にそって考えたことを提案しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	
	映像作品の表現を考える	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 絵コンテを構成する情報を整理し、理解する。 ● 漫画と絵コンテの描写の違いを理解する。 	1◎ 絵コンテの仕組みや特徴について知り、原作の漫画と絵コンテの違いを考える。	(2)イ	C(1)イ ◎ C(1)ウ C(2)イ	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と</p>	

								て考えたりして、内容を解釈している。C(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に映像作品の表現の特徴について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。	図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ	
		漢字の広場3 漢字の多義性	1	● 漢字の多義性についての理解を深める。	1 ◎ 漢字の多義性についての理解を深め、熟語を正しく書き表す。	(1)ウ (1)エ ◎		【知識・技能】◎ 多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで漢字の多義性について理解し、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。	【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ	
12月	七	ガイアの知性	6 (話)	● 筆者が用いる語句の意味を捉える。 ● 自然や知性に対する筆者の考え方について、自分のもつ知識や経験と結びつけ、考えをまとめる。	1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「推論」について理解する。全文を通読し、問題と主張の関係を把握したうえで、「鯨と象」と「人間」の二つの「知性」の対比構造を捉える。 2 第一大段落の二つの問題提起を捉え、第二大段落以降の解決に関わる重要語句を見いだす。 3 第二大段落「鯨や象」の「高度な『知性』」の実体を捉える。 4 第三大段落を読み、「攻撃的な知性」と「受容的な知性」の関係を捉え、筆者の提言・主張の妥当性について判断する。 5・6 ◎ 筆者の主張に対する自分の意見を文章にまとめる。	(1)エ	C(1)ア C(1)オ ◎ C(2)ア A(1)ア A(2)イ	【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ 【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで主張と例示の関係について考え、学習の見通しをもって意見を述べる文章を書こうとしている。	【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ 【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ 【思考・判断・表現】文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。C(1)カ 【思考・判断・表現】目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝え合う内容	

									を検討すること。A (1)ア	
		【書く】 確かな根拠をもとに 意見文を書く	書4	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠など、情報と情報との関係について理解する。 適切な根拠を示して、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 	<ol style="list-style-type: none"> 目標を確認し、「学びナビ」を読んで「確かな根拠」について理解する。多様な考え方が問題について題材を決め、材料を整理する。 文章の構成を工夫し、根拠の適切さや表現の効果を考えながら、自分の考えが伝わるように文章を書く。 ◎ ペアで互いに書いた文章を読み合い、根拠の適切さや表現の効果を考えながら、文章を整える。 グループでそれぞれが書いた文章を読み合い、よい点や改善点を見いだす。 	(2)ア	B(1)ウ ◎ B(2)ア	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えたり描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など、情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)ウ</p>	
1月	八	学ぶ力	4	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の述べる事実と主張の関係を捉える。 構成や表現に着目し、理解したことや考えたことを自分の知識や経験と関連づけて広げたり深めたりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 目標を確認し、「学びナビ」を読み、「筆者との対話」について理解する。全文を通して読み、文章の構成や展開に注意して概要を捉える。 全文を提案・解説・例示の観点から整理し、「学ぶ力が伸びる」条件をまとめる。 ◎ 筆者の主張から、自分の体験を思い起こしたり考えを深めたりする。 筆者の考えを踏まえて、小学校からの学びを振り返り、文章にまとめ、他者との交流をとおして考えを深める。 	(2)ア	C(1)エ C(1)オ ◎ C(2)ア	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】今までの学習を生かして文章の構成や論理の展開について考え、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など、情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。C(1)カ</p>	
		【話す聞く】 さまざまな考えを踏まえ 討論をする	話聞 4	<ul style="list-style-type: none"> 出された情報からそれぞれの立場や考えの共通点や相違点を捉え話し合う。 相手の立場や考え方などを尊重しながら結論をまとめる。 	<ol style="list-style-type: none"> 目標を確認し、「学びナビ」を読み、「さまざまな考えを踏まえる」ことについて理解する。話し合いの進め方を理解し、社会生活の中から話題を決め、想定される立場を考える。 グループ内で、異なる立場を設定し、役割を分担する。話題について、自分の考えを整理し、まとめる。 ◎ 話し合いの手順や留意点、評価の観点を確認する。グループで討論を行う。 行われた話し合いについて、グループごとに振り返る。 	(2)ア	A(1)オ ◎ A(2)イ	<p>【知識・技能】意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。A(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など、情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。A(1)オ</p>	

		文法の 小窓3 付属語 のいろ いろ 文 法 (解 説) 3 付属語 のいろ いろ	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属語にはどのようなものがあるのかを知る。 	<p>1 ◎ P239『文法の小窓3』を読んで、助詞の違いによる印象や意味の違いを考えるとともに、P301を読んで助詞の種類とはたらきについて理解する。</p> <p>2 P303を読んで、助動詞の種類とはたらきについて確認し、「考えてみよう」に取り組み理解を深める。</p>	(1)オ ◎		<p>【知識・技能】◎ 助詞や助動詞などのはたらきについて理解を深めている。(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 助詞・助動詞に興味・関心を抱き、助詞・助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。(1)カ</p>	
2月	九	豚	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉のもつ意味やイメージに注意して読む。 ● 言葉のもつイメージが詩の中でどう変化するかを考える。 	<p>1 ◎ 「学びナビ」を読み、「想像・イメージ」について理解する。自分の経験や知識と結びつけながら詩の言葉のもつ意味やイメージについて自分の考えをまとめて、詩のイメージをクラスで交流する。</p>	(1)エ	C(1)イ C(1)オ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで内容を解釈し、学習の見通しをもって考えたことを説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。C(1)カ</p>	
		走れメ ロス	6	<ul style="list-style-type: none"> ● 抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。 ● 登場人物や語り手のものの見方や考え方について理解 	<p>1 目標を確認して「学びナビ」を読み、「語り手の位置」について理解する。</p> <p>2 全体の構成を捉えるとともに、第一場面、第二場面を音読し、状況（場面）設定や人物設定についてまとめながら自分の考えをまとめる。</p> <p>3 第三場面、第四場面を音読し、できごとをまとめながら自分の考えをまとめる。</p>	(1)エ	C(1)ア C(1)オ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 抽象的な概念を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。C(1)オ</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感</p>	

			し、自分の考えを深める。	<p>4 第五場面、第六場面を音読し、メロスとセリヌンティウスの言動や心情、ディオオニスの変化を捉えながら自分の考えをまとめる。</p> <p>5 各場面について考えたことや人称の変化が作品全体に与える効果について話し合う。</p> <p>6◎ 交流をとおして語り方の特徴を踏まえて読みをまとめ、自分の考えを広げたり深めたりする。</p>			【主体的に学習に取り組む態度】すすんで登場人物の設定の仕方を考え、学習課題にそって自分の考えを深めようとしている。	<p>覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。C(1)カ</p>	
3月	<p>言葉の小窓3</p> <p>類義語・対義語・多義語・同音語</p> <p>言葉解(説)3</p> <p>類義語・対義語・多義語・同音語</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常の生活で使う言葉を、いつもと違った視点から捉え直す。 	<p>1◎ P269『言葉の小窓3』の会話文をもとに、類義語と対義語の意味や特徴を理解する。また P284 の解説を読み、日常生活の中から集めた多義語や同音語を調べたり、考えたりして用法を知る。</p>	(1)エ◎		<p>【知識・技能】◎ 類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く類義語・対義語・多義語・同音語について理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p>	
	【書く】「連作ショートショート」を書く	書5	<ul style="list-style-type: none"> ● 表現したい内容に合った言葉を選び、語彙を豊かにする。 ● 物語の構成や展開を意識して書き、表現の工夫や効果について考える。 	<p>1 目標を確認し、「ショートショート」の特徴について知り、四人で一組になる。一人が「不思議な言葉」を考える。</p> <p>2 表現を工夫しながら「連作ショートショート」を分担して書く。</p> <p>3 グループで物語を合わせて読み合い、文章を整える。</p> <p>4 他のグループと作品を交換して読み合う。</p> <p>5◎ 感想を交流し、表現の工夫とその効果などについてよい点や改善点を教え合い推敲する。</p>	(1)エ	B(1)オ◎ B(2)ウ	<p>【知識・技能】類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。B(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に表現の効果を考え、学習の見</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】文章全体の構成や展開</p>	

								通しをもって物語を創作しようとしている。	が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見つけること。B(1)カ
		漢字の 広場4 同音の 漢字	1	● 同音の漢字についての理解を深める。	1 ◎ 同音の漢字について理解し、身のまわりの同音語を見つける。	(1)ウ (1)エ ◎		【知識・技能】◎ 同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで同音の漢字について理解を深め、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。	【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ

総時数 108 時間（うち、話すこと・聞くこと 13 時間、書くこと 28 時間）

各単元の最後に「単元テスト」を 1 時間もうける。

年 3 回学力テストの時間を設ける。

計 108+9+3=120 20 時間を書写の時間とする。

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

〔第3学年〕目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

指導時期	単元	教材名	配当 時数 ()内 は含ま れる領 域の 時数	教材目標	学習活動の流れ *は学習活動の留意点	学習指導要領と の対応		評価規準(例)	小学校との関連 (小学校第5学年および 第6学年)	重点
						知識 及び 技能	思考 力、判 断力、 表現力 等			
4月	一	春に	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ぼく」の「気持ち」がどのような言葉で描かれているかを理解し、語感を磨く。 ● 詩に描かれた物事の構成や展開に注意し、作品を批評する。 	1◎ 「この気持ちはなんだろう」という表現が繰り返されていることの効果について話し合う。「ぼく」の「気持ち」はどのように変化しているか、構成に着目して説明する。	(1)イ	C(1)ウ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	

	立ってくる春	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ● 文章の種類を踏まえて構成や展開の仕方を捉え、内容を評価する。 	<p>1 「学びナビ」を読み、これまでの学習（説明的文章や文学的文章についての学び）や読書生活を振り返るとともに、学習の見通しを立てる。全文を通読し、筆者に独自の見方・考え方を捉え、それに対する自分の思いや考えを書く。</p> <p>*随筆の魅力について考える。</p> <p>2◎ 筆者がどのようにして「立春」という言葉への独自の見方考え方にいたったのか、その経緯を筆者固有の経験との関係を整理して捉える。</p> <p>*みちしるべ1・2に取り組む。 筆者の言葉の経験を参考に「立夏」「立秋」「立冬」の「かたち」を考える。</p> <p>*みちしるべ3に取り組む。</p>	(1)ウ	C(1)ア ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。C(1)ア</p>	
	なぜ物語が必要なのか	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ● 文章の種類を踏まえて構成や展開の仕方を捉え、内容を評価する。 	<p>1◎ 「学びナビ」を確認するとともに、「立ってくる春」での学びを振り返り、学習の見通しをもつ。筆者（「私」）がどのような問いをあげ、どのような例をもとに答えを導いているか整理する。</p> <p>*みちしるべ1に取り組む。 「洋二郎さん」「アンネ」それぞれにとっての「物語」の役割について、筆者の考えを捉える。</p> <p>*みちしるべ2に取り組む。</p> <p>2 読み手にとっての「物語」の役割について、筆者の考えを本文の言葉を使って説明する。</p> <p>*みちしるべ3に取り組む。 筆者の「物語」に対する考え方について、自身の経験を振り返って評価する。</p> <p>*みちしるべ1を振り返りながら、みちしるべ4に取り組む。</p> <p>3 「物語の役割」に対する筆者の考え方への評価について、経験も交えながら話し合う。</p> <p>*みちしるべ4に取り組む。</p>	(1)ウ	C(1)ア C(1)ウ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 第5学年及び第6学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。(1)エ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	

5月		【話す聞く】 情報を確かめてスピーチをする	1	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できる情報が確かめて、スピーチをする。 	1 グループを作り、調べるテーマを決める。決めたテーマについて、個別に情報を集め、一人ずつスピーチする。それぞれのスピーチの中で、信頼できる情報かどうかについて吟味しながら聞き、自分のスピーチと対照させながら聞く。全員の発表後に、情報収集の仕方や信頼性、内容に関する感想などを交流する。	(2)イ	A(1)ア ◎ A(2)ア	<p>【知識・技能】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したりして、伝え合う内容を検討すること。A(1)ア</p>	
	私	4	<ul style="list-style-type: none"> 読書が自分の生き方や社会との関わり方を支えていることを理解する。 作品を読んで人間や社会などについて考えを巡らせ、自分の意見をもつ。 	<p>1 「学びナビ」を確認し、「記号」と「象徴」の違いについて理解し、「記号」としての「個人情報」という捉え方と『私』というタイトルがどのように結びつくのか、本文にどのように表されるのかを考えながら、通読する。 *みちしるべ1に取り組む。</p> <p>2 前半部と後半部のできごとを整理し、「私」の「市民対応」と「司書」の「市民対応」を比較したうえで、役所に来た「女性」と図書館に行った「私」は何を問題にし、どのような結果になったのかをまとめる。 *みちしるべ2・3に取り組む。</p> <p>3◎ 「二重の情報」に対する「女性」「司書」「私」の捉え方の違いについて考えを交流する。 *みちしるべ4に取り組む。</p> <p>4◎ この作品を現実の世界と比較しながら批評し、文章にまとめる。 *みちしるべ5に取り組む。</p>	(3)オ	C(1)イ C(1)エ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、文章の展開を捉えたり言葉の意味を文脈から理解したりするとともに、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広めること。C(1)カ</p>		
	二	薔薇のボタン	2	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 	<p>1◎ 全文を通して読み、感想や関心をもった点などについて「読書の記録」をとり、記録を使いながら交流する。</p> <p>2 さらに本の世界を広げるためにビブリオバトルを行う。</p>	(3)オ ◎	C(1)イ C(1)エ ◎ C(2)ア	<p>【知識・技能】◎ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p>	<p>【知識・技能】 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分</p>	

							【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。	の考えをまとめること。C(1)オ 【思考・判断・表現】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広めること。C(1)カ	
6月	【話す聞く】構成を工夫して主張をまとめる	話聞2	<ul style="list-style-type: none"> ● 主張と根拠の関係について確かめながら、話す内容を検討する。 ● 自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成、表現を工夫しながら話す。 	<p>1 「学びナビ」を読み、「組み立てる」ことについて理解する。社会生活の中から興味があるテーマや課題だと感じるテーマを選び、そのテーマについて自分自身の立場や主張を考えるための資料や事例を探す。</p> <p>2◎ 全体の構成や論理展開を検討し、スピーチ原稿を作成しスピーチを行う。</p>	(2)ア	A(1)イ ◎ A(1)ウ A(2)ア	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。A(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで情報の信頼性の確かめ方を理解して使い、学習の見通しをもって主張しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。A(1)イ</p>	
	メディア・リテラシーはなぜ必要か？／新聞が伝える情報を考える	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の信頼性の確かめ方について考える。 ● メディア・リテラシーについての理解を踏まえ、複数の社説を批判的に読み、新聞社としての意見や主張について考える。 	<p>1◎ 『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』を読み、メディア論の基本について理解を深める。筆者の主張の組み立てに用いられている論理を理解し、その情報の信頼性を吟味する。</p> <p>2◎ 新聞は情報をどのように区分し、どのように構成して伝えるのかを理解する。二つの社説の同じできごとへの社会的意味づけの意見の述べられ方を比較し、情報の向こうにいる者の存在を理解する。</p>	(2)イ	C(1)ア C(1)イ ◎ C(2)ア	<p>【知識・技能】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、部などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	
	漢字の広場1 呉音・漢音・唐音	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 漢字の音の歴史についての理解を深める。 	<p>1◎ 「呉音」「漢音」「唐音」について理解を深め、具体的な漢字について漢和辞典で調べたり、空白に共通で入る漢字を選んで熟語を完成させたりしながら、身近な文章の中での使われ方を理解し使ってみる。</p>	(1)ア (1)イ ◎		<p>【知識・技能】◎ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p>	

		文法の小窓1 助詞のはたらき 文法(解説)1 助詞のはたらき	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 助詞のはたらきについて理解する。 	<p>1 P72『文法の小窓1』の会話文を読み、助詞「から」「の」の使い方の違いを考え、P284～287を用いて、格助詞・接続助詞のはたらきや代表的な語とその意味を理解する。</p> <p>2 P284～287を用いて、副助詞・終助詞のはたらきや代表的な語とその意味を理解し、「の」の識別について理解する。</p>	内容の取扱い 1(2) (2年(1)オ◎)		<p>【知識・技能】◎ 助詞のはたらきについて理解している。2年(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 助詞に興味・関心を抱き、粘り強く助詞の種類とはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に生かして、適切に表現・理解しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること(1)カ</p>	
7月	三	A Iは哲学できるか	4 (書)	<ul style="list-style-type: none"> ● 筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ● 論理の展開の仕方を捉えて文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について自分の意見をもつ。 	<p>1 「学びナビ」を確認し、筆者の主張について批判的に読むという手法を踏まえ、筆者の立場やものの見方、考え方に注目しながら全文を通読する。 *みちしるべ1に取り組む。</p> <p>2 「哲学的な思考パターン」「切実な哲学の問い」の内容について話し合い、筆者のいう「哲学」とはどのようなものか整理する。 *みちしるべ2に取り組む。</p> <p>3◎ 文末表現に注目しながら、筆者がこれからの人工知能と哲学の関係をどのように捉えているか確認する。また、筆者が「そういうことは当分は起きないと私は予想する。」(P79)と述べている理由について確認する。 *みちしるべ3に取り組む。</p> <p>4 「哲学に新次元を開くことになる」とはどのようなことか自分の考えを伝え合い、「AIは哲学できるか」という題名をつけた筆者の意図について考えたことを文章にまとめる。 *みちしるべ4に取り組む。</p>	(1)イ	C(1)ア C(1)イ◎ C(1)エ C(2)ア B(1)ア B(2)ア	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。C(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確している。B(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書こうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。C(1)ウ</p>	
		【書く】客観性や信頼性のある記事を書く	書4	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の信頼性の確かめ方を理解し、活用する。 ● 目的に応じて題材を決め、伝えたいことを明確にして記事にする。 	<p>1◎ 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、「食品ロス」について、信頼性を確認しながら収集する。</p> <p>2 具体例から食品ロスの課題を調べ、読み手の興味をひく構成を考える。</p>	(2)イ	B(1)ア◎ B(2)ア	<p>【知識・技能】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確している。B(1)ア</p>	<p>【知識・技能】 情報と情報との関係づけの仕方、部などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。(2)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、</p>	

				<p>3 文章にまとめ、「食品ロス」の記事について、情報が客観的かどうかなどを吟味しつつ、推敲する。</p> <p>4 書いた文章を読み合い、適切に一般化して説明できたか確認し、新聞の形にまとめる。</p>			<p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に文章の種類を選択し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。</p>	<p>感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したりして関係づけたりして伝えたいことを明確にすること。B(1)ア</p>	
		漢字の広場2 熟字訓	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 熟字訓についての理解を深める。 	<p>1 熟字訓についての基礎的な知識について確認する。理解を深めるために、「老舗」「弥生」「固唾」「時雨」などの言葉の読み方と意味を実際に使われている文章の中で確かめる。</p>	(1)ア (1)イ ◎	<p>【知識・技能】◎ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p>	
		言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 言葉(解説)1 和語・漢語・外来語	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 	<p>1 和語・漢語・外来語の違いや由来を理解し、日常的に使われている言葉の中で気になる言葉について出し合い、辞典で調べ、効果的な使い分けについて考える。</p>	(1)イ ◎ (3)ウ	<p>【知識・技能】◎ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く言葉の特徴や使い分けを理解し、学習課題にそって文章を読む際の生かし方を考えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p>	
9月	四	async ——同期しないこと	4 (話)	<ul style="list-style-type: none"> ● 筆者の主張とその根拠を関係づけて読み、筆者の立場やものの見方、考え方を捉える。 ● 構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会や他者との関わり 	<p>1 ◎ 『async』と『問いかける言葉』の文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理する。 *みちしるべ1に取り組む。</p> <p>2 それぞれの文章の「不寛容」「新しい」という言葉に着目し、説明の仕方や筆者の主張の、共通点や相違点についてまとめる。 *みちしるべ2に取り組む。</p>	(2)ア C(1)ウ ◎ C(1)エ ◎ C(2)ア A(1)ア A(2)イ	<p>【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したりして、伝え合う内容を検討すること。A(1)ア</p>	

		問いかける言葉		について考える。	3 それぞれの文章における筆者の主張の仕方を比べながら、表現の効果や読み手に与える印象について話し合う。 *みちしるべ3・4に取り組む。 4◎ 「不寛容」なことに対するそれぞれの筆者のものの見方や考え方の違いを捉えて、社会のあり方や他者との関わり方について、自分の考えをまとめて話し合う。 *みちしるべ5に取り組む。			然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。A(1)ア 【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。		
		【書く】説得力のある批評文を書く	書3	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げる資料と自分の知識や経験との関係について整理する。 多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成や表現の仕方を工夫する。 	1 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、比較や関係づけを生かした批評文の書き方について理解する。批評する観点を決めて対象を観察し、気づいた特徴を分析する。 2◎ 効果的な論理展開や書き出し方やまとめ方、資料の適切な引用を考え、批評文を書き、批評できているかに注意して推敲する。 3 できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。	(2)ア	B(1)イ B(1)ウ ◎ B(2)ア	【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。	【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア 【思考・判断・表現】目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)ウ 【思考・判断・表現】引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)エ	
10月		文法の小窓2 助動詞のはたらき 文法(解説)2	2	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞のはたらきについて理解する。 	1 P109『文法の小窓2』を読み、三つの「止められる」には、どのような意味の違いがあるか考え、「れる・られる」を例にして助動詞のはたらきについて理解する。 2◎ P289・290を用いて、判断を表す助動詞と助動詞相当の語句について理解するとともに、いくつかの語の識別を行い、説明する。	内容の取扱い 1(2) (2年) (1)オ◎		【知識・技能】◎ 助動詞などのはたらきについて理解している。2年(1)オ 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に助動詞に興味・関心を抱き、助動詞のはたらきを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。	【知識・技能】文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること(1)カ	

助動詞のはたらき								
実用文の情報を捉えて生かす	3 (書 1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 実用文の特徴を理解する。 ● さまざまな実用文を読み、内容や表現の工夫を捉える。 	<p>1 ◎ 効果的な「お知らせ」の方法について、身のまわりの「お知らせ」の文章を探して読み、文章によってどのような特徴や工夫があるのかを調べる。</p> <p>2 実用文の目的や意図を理解しつつ、伝えたいことを明確にしたり、文章の構成を考えたりして、紹介文を書く。</p>	(1)ウ	C(1)ア ◎ C(1)ウ C(2)ウ B(1)ア B(2)イ	<p>【知識・技能】 文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確している。B(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に必要な情報を精査・解釈し、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること(1)カ</p> <p>【知識・技能】 事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。C(1)ア</p> <p>【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけ足りして、伝えたいことを明確にすること。B(1)ア</p>	
言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現 言葉(解説)2 相手に対する配慮と表現	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。 	<p>1 ◎ 場面や相手に応じた敬語の使い方について、P114、P275～277などのさまざまな事例を使い、練習しながら理解を深める。</p>	(1)エ ◎		<p>【知識・技能】 ◎ 敬語などの相手や場に応じた言葉づかいを理解し、適切に使っている。(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>		

五	旅への 思い	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的背景に注意しながら音読し、文章の特徴を理解する。 ● 句にこめられた作者の心情や情景について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。 	<p>1 『旅への思い』を歴史的仮名遣いに注意して音読し、『おくのほそ道』や芭蕉について理解を深める。 *みちしるべ1に取り組む。</p> <p>2◎ 『おくのほそ道』の書かれ方や表現の仕方について考え、芭蕉が旅に対して抱いていた思いを理解し、「旅立ち」「平泉」「立石寺」のそれぞれに描かれた情景と芭蕉の心情について話し合う。 *みちしるべ2・3に取り組む。</p> <p>3 印象に残った句を引用し、句から想像したことも入れて内容を紹介する文章を書く。 *みちしるべ4に取り組む。</p>	(3)ア ◎ (3)イ	C(1)ア C(1)ウ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】◎ 歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【知識・技能】 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(3)ア</p> <p>【知識・技能】 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。(3)イ</p>	
	和歌の 調べ	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 和歌の修辞と歴史的背景を意識しながら、そのリズムを味わう。 ● 和歌に表れた古人の感じ方やもの見方を理解する。 	<p>1 全文を通読したのち、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』のそれぞれの違いに着目しながら、和歌を声に出して読み、そのリズムを味わいながら、意味を考える。 *みちしるべ1・2に取り組む。</p> <p>2 和歌を一首選び、その歴史的背景や作者の心情について調べ、発表する。 *みちしるべ3に取り組む。</p> <p>3◎ 歌に表れた、自然や人間に対する作者の思いについて自分の意見を持ち、それぞれの考えを交流する。 *みちしるべ4に取り組む。</p>	(3)ア (3)イ ◎	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【知識・技能】◎ 長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(3)ア</p> <p>【知識・技能】 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。(3)イ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広めること。C(1)カ</p>	

1 1 月	風景と 心情	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 詩の形式や表現の工夫などを理解して、漢詩を音読し、暗唱する。 ● 漢詩を読んで情景の描写を捉え、心情を理解する。 	<p>1 漢文訓読についての既習事項を確認し、李白や杜甫の詩について書き下し文をもとに、声の出し方や間のとり方を工夫して音読したり暗唱したりする。</p> <p>*みちしるべ1に取り組む。</p> <p>2◎ P141「漢詩の表現の特徴」を参照し、李白や杜甫の詩について対句や韻について理解し、情景や心情の表現の仕方についてまとめる。</p> <p>*みちしるべ2・3に取り組む。</p> <p>3 前時までの学習を確認したうえで、好きな漢詩を選び、気に入った理由を手紙などの形式などを用いて発表する。</p> <p>*みちしるべ4に取り組む。</p>	(3) ア ◎	C(1)ア C(1)ウ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】◎ 歴史的背景などに注意して古典を読むことをとおして、その世界に親しんでいる。(3)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>	【知識・技能】親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(3)ア
	最後の 一句	1	<ul style="list-style-type: none"> ● わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<p>1◎ 『最後の一句』を読み、描かれた人物や状況について、当時の状況や現代の状況を対照させながら感想を発表し合う。</p>	(3) オ ◎	C(1)ア ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】◎ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えている。C(1)ア</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】すすんで文章を批判的に読み、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>	【知識・技能】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ <p>【思考・判断・表現】事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。C(1)ア</p>
	漢字の 広場3 異字同 訓	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 異字同訓についての理解を深める。 	<p>1◎ 異字同訓についての文章を読み、理解する。異字同訓についての練習問題(意味の違いを確かめる、どのような漢字を書くのがふさわしいか確かめる)を行い、理解を深める。</p>	(1)ア (1)イ ◎		<p>【知識・技能】◎ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】繰り返して学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>	【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ

	言葉の小窓3 慣用句・ことわざ 言葉 (解説)3 慣用句・ことわざ	1	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 	1◎ 慣用句とことわざについて、P164『言葉の小窓3』と P278～280 を読み、いろいろな慣用句、慣用句の性質、誤りやすい慣用句やことわざについて、知識を広げたり、実際に使ってみたりする。	(1)イ ◎ (3)ウ		<p>【知識・技能】◎ 慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)イ 【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く慣用句などについて理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p>	
六	俳句の味わい	2 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の中の言葉の使われ方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。 俳句の情景やその描かれ方について評価しながら読む。 	<p>1◎ 「俳句の味わい」を読んで「俳句のきまり」（「句切れ」「切れ字」「季語」）や、俳句で用いられる表現上の工夫を理解する。「俳句十五句」を読んで印象に残った句を選び、批評する。</p> <p>*みちしるべ1に取り組む。</p> <p>2 P174・175 を読み、『歳時記』を活用して、句会に取り組む。</p> <p>*みちしるべ2に取り組む。</p>	(1)イ	<p>C(1)ア C(1)ウ ◎ C(2)イ</p> <p>B(1)ウ 内容の取扱い 1(2) (2年B)</p>	<p>【知識・技能】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【思考・判断・表現】 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ 【思考・判断・表現】目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)ウ 【思考・判断・表現】引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)エ</p>	

	初恋	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 詩のもつ文体に注意して、その特徴がどこにあるかを理解する。 ● 詩の構成や展開、表現の仕方などを味わって読む。 	<p>1◎ 「文語定型詩」の特徴を捉え、その印象や効果について話し合う。 *みちしるべ1・2・3に取り組む。</p>	(1)ウ	<p>C(1)ア C(1)ウ ◎ C(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。C(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること(1)カ</p>
1 2 月	故郷	5	<ul style="list-style-type: none"> ● 理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使って語彙を豊かにする。 ● 語りに着目しながら読み、人間や社会、自然についての自分の意見をもつ。 	<p>1 「学びナビ」を読み、一人称視点と三人称視点の語り方の違いが小説の表現に及ぼす特徴について理解したうえで、『故郷』が一人称で語られている効果について着目しながら全文を通読し、作品を五つの場面に分け、小見出しをつける。できごとを時間の順序に従って並べ替え、なぜそのような順序で構成されたのかを考える。 *みちしるべ1に取り組む。</p> <p>2 「私」の記憶の中にある故郷と現在の故郷の風景の様子を比べ、その描写の違いがもたらす印象について考える。 *みちしるべ2に取り組む。</p> <p>3 「楊おばさん」と「閩土」について、「私」に対する二人の気持ちを想像し、過去と現在に分けてまとめる。また、現在の二人のことを「私」はどのように捉えているか、意見を交流する。 *みちしるべ3に取り組む。</p> <p>4◎ 「思うに希望とは、……歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」について、「閩土」と「私」の「希望」は、どのように異なるのか考える。また、「私」の捉えている「地上の道」とはどのようなものなのか考える。 *みちしるべ4に取り組む。</p> <p>5◎ 『故郷』を読み、作品の特性や価値、表現方法の特徴などについて考え、批評文にまとめる。 *みちしるべ5に取り組む。</p>	(1)イ	<p>C(1)ウ C(1)エ ◎ C(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ 【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について評価し、学習課題に沿って批評しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ 【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ 【思考・判断・表現】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広めること。C(1)カ</p>

	【書く】 自己PR文を書く	書2	<ul style="list-style-type: none"> ● 話や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ● 目的や意図に応じた表現になっているかを確認して、文章全体を整える。 	<p>1◎ 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解し、書くための材料を集める。構成を検討して自己PR文を書き、推敲する。</p> <p>2 自己PR文を読み合って検証し、書き直す。</p>	(1)ウ	B(1)エ ◎ B(2)ア	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。B(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって発表のための資料を作成しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。B(1)オ</p>	
	【話す聞く】 評価しながらスピーチを聞く	話聞2	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手や場に適切な言葉を用いたスピーチになっているかを確認する。 ● 評価しながらスピーチを聞くことで、自分の考えを広げたり深めたりする。 	<p>1 「学びナビ」を読み、「評価すること」について理解する。スピーチの目的や、スピーチする相手を理解し、状況に合わせたスピーチについて理解したうえで、中学校生活を振り返るためのスピーチ内容について考える。</p> <p>*自分の考えを「誰に対して」「どのような場所で」「どのような言葉で」「どのように」伝えるかなどを想定して、スピーチ原稿を作成する。</p> <p>2◎ 場面を想定したスピーチを観点を意識しながら聞き、互いに評価し合い、表現の改善に生かす。</p>	(1)イ	A(1)エ ◎ A(2)ア	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。A(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって主張しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。A(1)エ</p>	
	漢字の広場4 四字熟語	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 四字熟語についての理解を深める。 	<p>1◎ 四字熟語についての文章を読み、基本的事項について理解したうえで、練習問題を解き、さらに理解を深め、四字熟語を使った文章を作ってみる。</p>	(1)ア (1)イ ◎	<p>【知識・技能】◎ 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 繰り返し学年別配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>	<p>【知識・技能】思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p>		

1 月	七	<p>持続可能な未来を創るために一人間の生命・存在を考える／生命とは何か／地球は死にかかっている／水の星</p>	<p>3 (話聞 1 書 1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。 	<p>1 P222～226 を読み、「最初の『問い』」を考える。 2 ◎ P227～229 を読み、「次の『問い』」について、合意形成する方向で話し合う。 3 ◎ P231の最後の「問い」について、SDGs の図表などを引用するなどして自分の考えを工夫して書く。</p>	(2)ア	<p>A(1)オ ◎ A(2)イ B(1)ウ ◎ B(2)ア C(1)エ ◎ C(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ 【思考・判断・表現】 ◎ 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。B(1)ウ 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア 【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ 【思考・判断・表現】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広めること。C(1)カ 【思考・判断・表現】 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。A(1)オ 【思考・判断・表現】 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)ウ 【思考・判断・表現】 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。B(1)エ</p>	
		<p>【話す聞く】 意見を共有しながら話し合う</p>	<p>話聞 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 出された意見の関係をおさえて話し合う。 ● 話し合いの進行の仕方を理解し、互いの考えを尊重しながら 	<p>1 ◎ 「学びナビ」を読み、「意見を共有する」ことについて、「プラスチックごみ」に対する取り組みのベン図から、「☆」にあたる内容を考える。持続可能な社会の実現に向けてできることについて考えをまとめる。グループで互いの意見を出し合い、共通点や相</p>	(2)ア	<p>A(1)オ ◎ A(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 【思考・判断・表現】 ◎ 「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて</p>	<p>【知識・技能】 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア 【思考・判断・表現】 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に</p>	

				話し合い、結論を出す。	<p>違点を整理し、グループで意見をまとめる。</p> <p>2 グループでまとめた意見をクラスに向けて発表する。他のグループの意見を参考にしながら、持続可能な社会の実現に向けてできることについて、クラスの多くの人が納得できる結論を考える。</p>			<p>考えを広げたり深めたりしている。A(1)オ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に相手や場に応じた言葉づかいを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。</p>	話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。A(1)オ	
2月		【書く】 中学校生活をまとめて作品集を作る	書2	<ul style="list-style-type: none"> 自分の文章の収集と整理をする。 学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。 	<p>1 「学びナビ」を読み、情報をまとめて作品集を作り、学習を振り返るための材料にすることを理解し、作品を集め、作品集のテーマを決め、作品集に入れる作品を選ぶ。</p> <p>2 編集、製本し友達と読み合う。</p>	(2)ア	<p>B(1)ア B(1)イ ◎ B(1)ウ B(1)エ B(1)オ B(2)イ</p>	<p>【知識・技能】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。B(1)イ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に今までの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。(2)ア</p> <p>【思考・判断・表現】筋道の十次文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。B(1)イ</p>	
3月	八	バースデー・ガール	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分と社会との関わりを支える読書の価値やはたらきについて理解する。 文章の構成や展開、表現の仕方について評価する。 	<p>1 もし自分が二十歳の「彼女」であったら、どんなことを願うかという「問い」を手がかりに、この作品についての互いの考えを交流する。 *みちしるべ1,2に取り組む。</p> <p>2◎ この作品の面白さについて、構成や展開、表現の仕方を感じたことをまとめる。 *みちしるべ3に取り組む。</p>	(3)オ	<p>C(1)ウ ◎ C(2)イ</p>	<p>【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価すること。C(1)ウ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ</p>	
		青春の歌	1	<ul style="list-style-type: none"> 無名性に着目しながら読み、短歌に描かれた青春というものについて自分の考えをもつ。 	<p>1◎ 現代短歌とその批評を読み、短歌の世界の魅力にふれるとともに、無名性の青春と自分とを対照させて考える。</p>	(3)オ	<p>C(1)ウ C(1)エ ◎ C(2)ア</p>	<p>【知識・技能】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもって。C(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして批評しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づくこと。(3)オ</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、</p>	

									自分の考えを広めること。C(1)カ
	やわらかな想い	1	<ul style="list-style-type: none"> 詩の表現に着目して読み、人間や社会、自然についての自分の意見をもつ。 	1◎ P32・33の学びナビ「〈私〉という記号」を読み返しながら、『やわらかな想い』で使われている「記号」にどのような効果があるのかを考える。	(1)イ	C(1)エ ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ</p> <p>【思考・判断・表現】◎ 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。C(1)エ</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>	<p>【知識・技能】 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。C(1)オ</p> <p>【思考・判断・表現】 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広めること。C(1)カ</p>	

総時数 79 時間（うち、話すこと・聞くこと 8 時間、書くこと 15 時間）

各単元の最後に「単元テスト」を 1 時間もうける。

年 8 回学力テストの時間を設ける。

計 79+8+8=95 10 時間を書写の時間とする。

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。

2026年 1年書写年間学習指導計画

学期	期	月	時間	学習単元	学習教材	学習目標	ページ
一学期	前期	4～6月	5時間	目的に合わせて書こう		<ul style="list-style-type: none"> 目的に合わせて、文字を書くことへの興味や関心を深めることができる。 中学書写の学習内容が、他教科や日常生活へ広がることを理解できる。 書写の学習を学校生活のどのような場面で生かすことができるか、話し合うことができる。 	①・1
				目次 第一～第三学年		<ul style="list-style-type: none"> 中学校三年間における書写の学習内容や目標を理解することができる。 	2・3
				「まなびリンク」を活用しよう		<ul style="list-style-type: none"> 学校のルールを守りながら、学習に役立つ方法をウェブサイトで見ることが理解することができる。 	4
				知りたい！ さまざまな筆記具		<ul style="list-style-type: none"> 身のまわりにあるさまざまな筆記具について話し合い、使い分けて効果的に書く方法を理解することができる。 	5
				詩「ふしぎ」 金子みすゞ		<ul style="list-style-type: none"> よい姿勢や用具の持ち方で、配列よく詩を書くことができる。 	6・7
				姿勢と用具の使い方		<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学習した姿勢・執筆、用具の使い方について確認することができる。 	8・9
				学習の進め方		<ul style="list-style-type: none"> 学習の進め方を理解することができる。 	10・11
				書写をとおして学んでいくこと		<ul style="list-style-type: none"> 中学校三年間における書写の学習内容や目標、各学習内容の関係性を理解することができる。 	12
				扉 第一学年		<ul style="list-style-type: none"> 第一学年における書写の学習内容や目標を理解することができる。 	13
				学習内容を効果的にノートに書こう		<ul style="list-style-type: none"> ノートの基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して書くことができる。 	14・15
		楷書で書こう	1 筆使いー基本点画ー	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いを理解して、確認することができる。 	16・17		
			2 筆使いと字形「天地」	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学習した楷書の基本点画の筆使いと字形を理解して書くことができる。 	18～21		
			3 学習を生かして書くー字形、筆順ー	<ul style="list-style-type: none"> 字形の整え方と筆順の原則を理解して書くことができる。 毛筆で学習したことを、硬筆に生かすことができる。 	22・23		
■（コラム）筆、墨、硯、紙について知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 書写で用いられる用具に興味をもち、材料や産地などのテーマに沿って、調べることができる。 		24・25				
二学期	7～9月	4時間	二 楷書と仮名を調和させて書こう	1 楷書に調和する仮名「いろは歌」	<ul style="list-style-type: none"> 楷書に調和する仮名の筆使い、字形を理解して書くことができる。 「いろは歌」や五十音表について理解することができる。 	26～29	
				2 学習を生かして書くー配列ー『竹取物語』	<ul style="list-style-type: none"> 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書くことができる。 	30・31	
				3 学校生活に生かして書く ・校庭の植物の観察をレポートにまとめる ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く（ポスターセッション用）	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな形式の基本的な書き方と、文字の大きさや配列を理解して、さまざまな形式に合わせて書くことができる。 伝える相手や目的を明確にして、配列や用具を工夫して書くことができる。 	32～35	
				■（コラム）文字の変遷	<ul style="list-style-type: none"> 文字の変遷について理解し、身のまわりの文字の書体に関心をもつことができる。 	36・37	
				三学期	後期	10～3月	8時間
2 楷書と行書の違い「和」	<ul style="list-style-type: none"> 楷書と行書の違いから、行書の点画の特徴などを理解できる。 	40・41					
3 行書の筆使い「大」	<ul style="list-style-type: none"> 行書の筆使いを理解して書くことができる。 	42・43					
4 点画の連続と変化 1「大洋」	<ul style="list-style-type: none"> 点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。 	44・45					
5 点画の連続と変化 2「栄光」	<ul style="list-style-type: none"> 点画の連続と形の変化を理解して書くことができる。 	46・47					
6 点画の連続と省略「平和」	<ul style="list-style-type: none"> 点画の連続と省略を理解して書くことができる。 	48・49					
7 学習を生かして書くー行書の特徴ー	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習してきた行書の特徴を理解して硬筆で書くことができる。 	50・51					
■（コラム）あの人が残した文字	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史上の人物が書いてきた文字について関心をもち、書かれた字形や身のまわりの文字について話し合い、文字について興味を深めることができる。 	52・53					
■（コラム）活字について知ろう	<ul style="list-style-type: none"> 手書きと活字との違いや共通点などについて考え、活字の書体の使い分けについて理解することができる。 活字の変遷や特徴について理解し、社会での活字の使われ方について考えることができる。 	54～56					
12・1日	2時間	☆書き初めを書こう	「新たな決意」※（伝統文化）				

	12月	4時間	▽言と物との言	「初には从心」を「印刷入心」	※（行書の特徴や配列を理解して書くことができる。）	57～60
	10～3月	1時間		■（コラム）「書くこと」の変遷	・人が文字を書いてきた目的について関心を持ち、時代を追いながら理解することができる。	61～64